

平成 2 9 年 米子市の人口動向

- 鳥取県年齢別推計人口によると、平成29年10月1日現在の本市の総人口は148,720人となり、前年と比べて458人減少した。また、年齢3区分別の人口構造は、引き続き、少子高齢化が進行している状況を示している。
- 自然動態は、8年連続の自然減となり、平成22年以後で最多の409人の減少であった。
- 社会動態は、2年連続の社会減で、54人の減少であった。

1 平成 2 9 年鳥取県年齢別推計人口

◎平成27年の国勢調査の結果が反映された平成29年の鳥取県年齢別推計人口（国勢調査人口を基に、人口動態により推計した人口）においても、引き続き、年少人口・生産年齢人口の割合は減少し、老年人口は増加した。

単位：人

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
年少人口	20,678 (14.2%)	20,595 (14.2%)	20,435 (14.1%)	20,396 (14.1%)	20,179 (14.0%)	20,163 (13.7%)	20,001 (13.6%)	19,845 (13.5%)
生産年齢人口	88,910 (61.1%)	88,546 (61.1%)	87,444 (60.3%)	86,164 (59.5%)	84,994 (58.8%)	86,473 (58.7%)	85,772 (58.3%)	85,058 (58.0%)
老年人口	35,379 (24.7%)	35,781 (24.7%)	37,039 (25.6%)	38,285 (26.4%)	39,446 (27.2%)	40,569 (27.6%)	41,297 (28.1%)	41,709 (28.4%)
小計	144,967	144,922	144,918	144,845	144,619	147,205	147,070	146,612
年齢不詳	3,304	3,304	3,304	3,304	3,304	2,108	2,108	2,108
総人口	148,271	148,826	148,222	148,149	147,923	149,313	149,178	148,720



2 平成29年人口動向（自然動態・社会動態）

（1）自然動態の推移

◎平成22年以後、8年連続の自然減となっている。減少数は最も多い409人であった。

○出生数は、1,359人と前年より減少し、平成22年以後、2番目に低い数値であった。

○死亡数は、1,768人と前年より増加し、平成22年以後、最も高い数値であった。

単位：人

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
自然増減	-169	-98	-150	-150	-288	-126	-269	-409
出生数	1,409	1,419	1,437	1,434	1,330	1,446	1,380	1,359
死亡数	1,578	1,517	1,587	1,584	1,618	1,572	1,649	1,768

資料：鳥取県人口移動調査

（参考）女性人口の推移（鳥取県年齢別推計人口）

○出生数に影響する若年女性人口（20歳～39歳）は、減少傾向は継続している。

単位：人

年齢	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
15～19歳	3,656	3,504	3,571	3,537	3,488	3,484	3,593	3,590
20～24歳	3,247	2,763	2,725	2,779	2,935	3,034	3,011	2,965
25～29歳	3,928	3,947	3,788	3,544	3,328	3,136	3,538	3,464
30～34歳	4,869	4,637	4,498	4,417	4,299	4,218	4,208	4,080
35～39歳	5,439	5,376	5,286	5,113	4,933	4,855	4,811	4,664
40～44歳	4,710	4,899	5,028	5,197	5,370	5,379	5,541	5,428
45～49歳	4,492	4,388	4,468	4,559	4,594	4,654	4,933	5,041
合計特殊出生率の母数となる女性人口（15～49歳）	30,341	29,514	29,364	29,146	28,947	28,760	29,635	29,232
若年女性人口（20～39歳） ※子どもを産む女性の95%を占める年齢層	17,483	16,723	16,297	15,853	15,495	15,243	15,568	15,173

資料：鳥取県年齢別推計人口

上記の表中「平成27年の数値」は、平成27年の国勢調査の結果は反映されていない。

(参考) 出生順位別の出生数の割合

区 分	出生順位別の出生数の割合 (単位: %)					
	第1児	第2児	第3児	第4児	第5児以上	第3児以上
平成22年	47.8	33.7	14.0	3.4	1.1	18.5
平成23年	44.6	38.2	14.2	2.3	0.7	17.2
平成24年	44.9	36.4	15.4	2.1	1.2	18.7
平成25年	45.4	36.2	14.9	2.7	0.8	18.4
平成26年	48.5	31.4	14.9	4.2	1.0	20.1
平成27年	45.1	36.0	14.0	3.4	1.5	18.9
平成28年	46.9	33.6	14.4	3.9	1.2	19.5

資料: 鳥取県「人口動態統計」

(2) 社会動態の推移

◎平成29年は54人の社会減であった。

○転入数は、5,058人と、平成22年以後、2番目に低い数値であった。

○転出数は、5,112人となり、平成22年以後、2番目に低い数値であった。

単位: 人

区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
社会増減	51	72	120	109	-149	12	-27	-54
転入数	5,328	5,340	5,263	5,299	5,129	5,383	5,007	5,058
転出数	5,277	5,268	5,143	5,190	5,278	5,371	5,034	5,112

資料: 鳥取県「人口移動調査」

(参考)本市への転入超過数の推移

(単位:人)

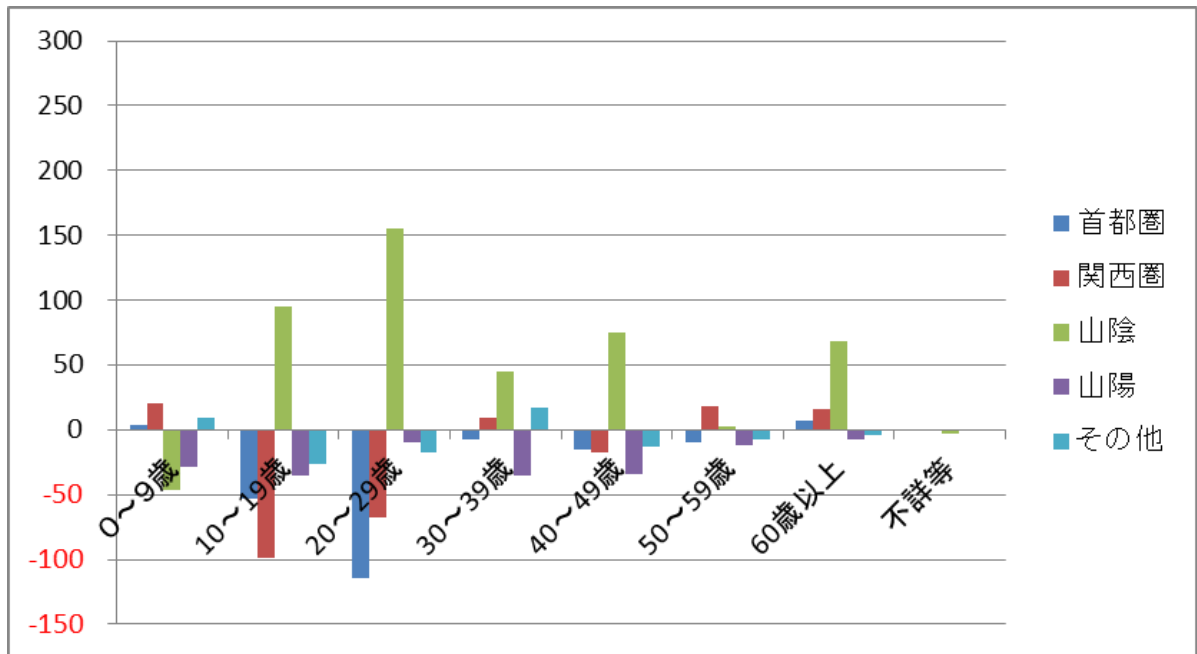
区分		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
東部	鳥取市	63	85	98	67
	岩美町	0	0	-1	6
	若桜町	-1	-1	3	0
	智頭町	5	-1	10	5
	八頭町	8	1	-4	9
	計	75	84	106	87
中部	倉吉市	7	25	38	25
	三朝町	-7	0	5	1
	湯梨浜町	-1	22	10	18
	琴浦町	29	34	-10	5
	北栄町	1	19	8	-8
	計	29	100	51	41
西部	境港市	36	73	66	18
	日吉津村	-9	11	-37	7
	大山町	14	-7	37	52
	南部町	46	40	-10	-14
	伯耆町	-22	-65	8	38
	日南町	15	14	9	37
	日野町	21	7	18	19
	江府町	17	26	-1	25
	計	118	99	90	182
県内合計		222	283	247	310
県外合計		-371	-271	-274	-364

資料:鳥取県人口移動調査

(参考)平成29年地域別・年齢別の転入超過数(対国外を除く)

単位:人

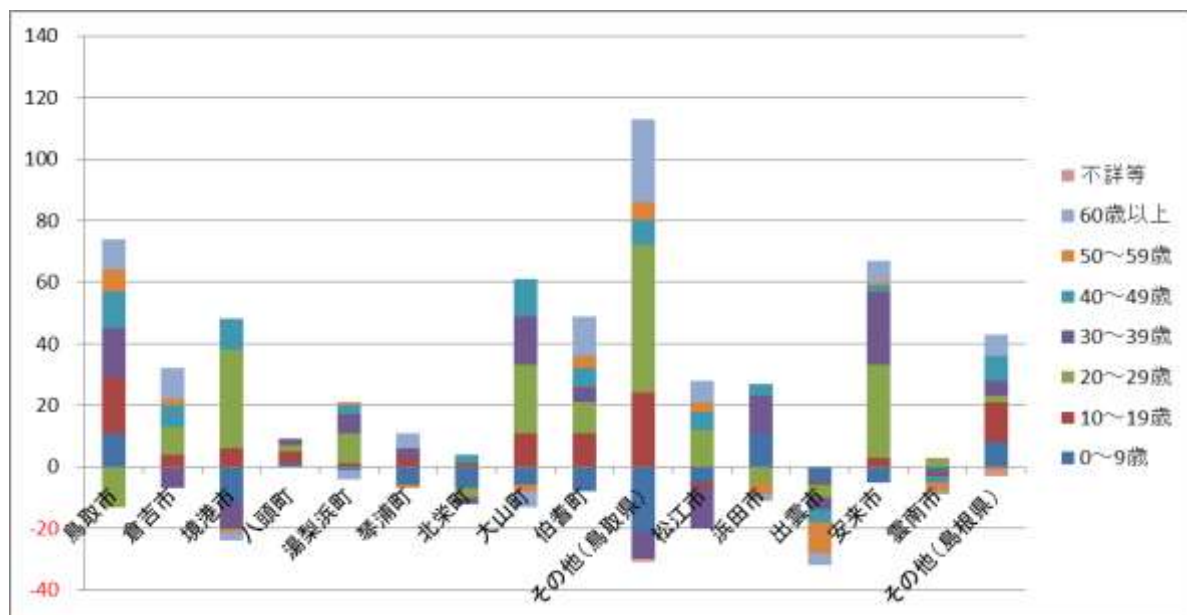
区分	0 5 9 歳	1 0 9 歳	2 0 9 歳	3 0 9 歳	4 0 9 歳	5 0 9 歳	6 0 歳 以上	不 詳 等	合 計
首都圏	4	-53	-115	-8	-15	-10	7	0	-190
関西圏	20	-99	-68	9	-18	18	16	0	-122
山陰	-46	95	155	45	75	2	68	-3	391
山陽	-29	-35	-10	-35	-34	-12	-7	0	-162
その他	9	-26	-18	17	-13	-8	-4	-1	-44
合計	-42	-118	-56	28	-5	-10	80	-4	-127



単位：人

資料：総務省「平成29年住民基本台帳人口移動報告（参考表）」

(参考) 平成29年地域別・年齢別の転入超過数【対山陰】



単位：人

資料：総務省「平成29年住民基本台帳人口移動報告（参考表）」

(参考) 県外からの移住者数

○平成29年度の県外からの移住者数（鳥取県調査基準によるもの）は、平成27年度から3年連続して県内トップの数値であった。年代別の割合では20歳代・30歳代が多く、前居住地別の割合では、中国地方が最も多いが、平成28年度と比べて中国地方が増え、関東地方などが減った。

区 分		平成28年度	平成29年度	
移住者数		505人	533人	
年代別の割合	～10歳代	9.0%	13.7%	
	20歳代	35.5%	38.1%	
	30歳代	26.4%	21.9%	
	40歳代	12.6%	11.4%	
	50歳代	9.9%	6.3%	
	60歳代	5.4%	5.1%	
	70歳代	0.3%	1.9%	
	80歳代～	0.6%	1.0%	
	不明	0.3%	0.6%	
前居住地別の割合	北海道・東北		2.7%	1.6%
	関東		19.8%	14.9%
	北信越		0.9%	0.6%
	東海		6.9%	3.8%
	近畿		22.6%	22.2%
	中国	島根	16.5%	20.3%
		岡山	7.2%	9.5%
		広島	8.4%	9.8%
		山口	2.7%	2.2%
		計	34.8%	41.9%
	四国		2.7%	5.7%
	九州・沖縄		7.2%	8.9%
	国外		1.5%	0.0%
不明		0.9%	0.3%	

■移住の理由（平成29年度）

転職24.4%、転勤（前任者なし）27.3%、子育て7.9%、結婚12.4%、介護2.9%、田舎暮らし2.9%、退職・離職による帰郷9.2%、卒業による帰郷0.3%、農林水産業0.3%、起業0.0%、その他12.4%

■米子市を選んだ理由（平成29年度）

働く場所がある24.6%、実家がある20.6%、自然が豊か10.0%、知り合いがいる13.9%、子育て環境が整っている8.4%、医療・福祉施設が充実している2.6%、食が魅力的3.3%、自分の時間にゆとりが持てる1.4%、地域が元気で温かい0.7%、その他14.4%

※上記の「年代別の割合」、「前居住地別の割合」、「移住の理由」、「米子市を選んだ理由」は、転入届窓口でのアンケート結果による。